相談支援作業部会の取組及び検討状況について

資料２－５

ありがとうの取組

new

感謝の気持ちを伝えることで、信頼関係の構築や安心感につながる。

事例検討研修

顔の見える関係づくりや他部署の業務を知る機会につながる。

研修情報の共有

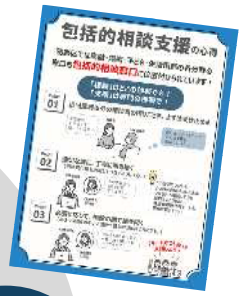
new

結果的には思考の質や行動の質にもつながる

他部署の研修への参加依頼や講師依頼など相互に協力できる体制につながる。

職員の意識付け

new



包括的相談支援に対して職員で共通認識を持つことで、多様な視点から、新たな気づきにつながる。

生成AI

new

相談を聞く機会が増える

判断の精度やスピード向上、知識や経験の補填につながる。

業務共有シート

他部署の業務を理解することで、適切なつなぎ先の判断につながる。

相談受付票

他部署へつなぐ際に共通のシートを活用することで、丁寧な案内や連携対応の標準化につながる。

職員意識調査

new

職員意識調査から現状や取組の効果の確認につながる。

作業部会

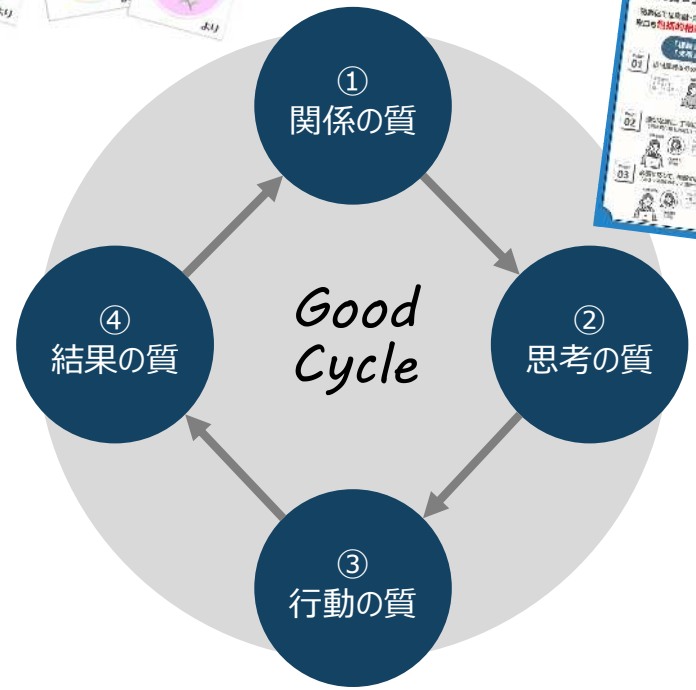
結果をフィードバックし、新たな課題への対応につなげていく。

相談部門以外への拡充

さらなる連携へ よりよい窓口へ

連携がうまくいくと「ありがとう」につながる

モチベーションUP



マサチューセッツ工科大学 ダニエル・キム教授 提唱
「組織の成功循環モデル」

自らの業務のスキルアップや専門知識を深めることも大事